



↑市民センター前を一斉にスタートした約2,700人のランナーたち

冷えた身体を温めるぜんざいなどの振る舞いがあつたほか、

この日は、天候にも恵まれ、ランナーたちは、スタート地点の市民センター前から一斉にスタートしました。沿道からは、温かい声援が送られ、ランナーたちは、それぞれの目標に向かって、伊万里の景色を楽しみながらゴールを目指しました。

1月12日 今回で12回目となりました。なつた『伊万里ハーフマラソン2026』が開催されました。

新春の恒例行事として定着しているこの大会には、全国各地から約2700人のランナーが参加し、伊万里湾を一周するコースを駆け抜けました。

伊万里ハーフマラソン2026



↑伊万里駅前の最後の直線コースで、力を振り絞り全力で走り抜けていくランナー



↑高校生や地元企業など、多くのボランティアが大会を支えました



↑ 大会新記録で優勝した上田結也選手



↑伊万里牛鍋が冷えた身体を温めました



↑ 完走記念のタオルを掲げ記念撮影するランナー

伊万里の特産品を販売するブースなどが並びました。走り終えたランナーたちは、達成感に満ちた表情で伊万里の食や交流を楽しみ、大会は、終始にぎわいを見せました。

市内出場ランナー 各部門上位3人の成績		
氏名	所属	記録
ハーフ・一般男子（18～39歳）の部		
上田 結也	SUMCO	1:05:09
畠元 悠治	南波多体協	1:11:38
四辻 巧	山代	1:11:54
ハーフ・一般男子（40～49歳）の部		
古賀 慶彦	at国見台	1:15:11
齋藤 裕樹	前田病院	1:15:28
松尾 潤	伊万里市役所	1:16:06
ハーフ・一般男子（50～59歳）の部		
関 賢一郎	伊万里市役所	1:22:45
酒井 浩行	SUMCO	1:22:53
松本 愼市	ハマショーカー	1:26:42
ハーフ・一般男子（60歳以上）の部		
大久保 年雄	川原建設	1:48:01
武田 耕二	—	1:51:24
井樋 直孝	いひ整形外科	1:51:27
ハーフ・一般女子（18～39歳）の部		
笠原 奈月	—	1:21:45
城島 こころ	—	1:45:33
川原 さくら	—	1:54:53
ハーフ・一般女子（40～49歳）の部		
谷口 有香	—	1:35:27
原田 里絵	—	1:54:40
杉山 久美子	—	1:56:45
ハーフ・一般女子（50～59歳）の部		
中島 由香理	伊万里	1:53:50
新井 裕子	—	2:08:51
中島 智子	伊万里クラブ	2:11:45
ハーフ・一般女子（60歳以上）の部		
小宮 良子	—	2:21:49
原田 福美	SUMCO	2:24:54

ハーフ(21.0975km)は日本陸連公認コースです。



2月の市民スポーツ

● 1日(日)

市長杯バスケットボール大会

午前8時30分開会

国見台体育館

● 8日(日)

伊万里市スポーツ少年団剣道交流大会

午前9時開会 国見台武道館

● 13日(金)～15日(日)

郡市対抗県内一周駅伝大会

県内一円(伊万里市通過:14日)

《市内中継所の通過予定時刻》

▷市民センター前

2日前半ゴール 午前11時30分

再スタート 午後1時

▷南波多郷学館入口

午後1時30分

● 20日(金)

市長杯団体戦グラウンド・ゴルフ大会

午前9時10分開会

国見台陸上競技場、国見台球技場

● 22日(日)

伊万里オープンバドミントン大会

午前9時開会 国見台体育館



↑九州大会の出場を決めた大坪少年サッカーチームのメンバー

12月7日、ブラックモンブランフットボールセンターで『JA杯第40回佐賀新聞学童オリンピック大会・サッカー競技』の準決勝と決勝が行われ、大坪少年サッカーチームは、決勝でサガン鳥栖U12と対戦し、1対1のまま延長戦でも決着がつかず、PK戦の末、準優勝の成績を收めました。

大坪少年サッカークラブ 準優勝

伊万里ジュニア駅伝

国際ジュニアスキーテクノロジ選手権大会出場

NPBジュニアトーナメント出場

12月7日、国見台陸上競技場で『第31回名村カップ2025伊万里ジュニア駅伝大会』が行われました。市内選手の成績は、次のとおりです。

ロードレース 女子1～3年の部(1.5km)			
順位	氏名	所属	記録
2位	内田 陽乃	伊万里三香クラブ	6:32
3位	小松 来依	伊万里クラブ	6:35
ロードレース 女子4～6年の部(2km)			
順位	氏名	所属	記録
1位	廣田 愛澄	伊万里クラブ	7:37
駅伝 女子の部(5.9km)			
順位	チーム名	記録	
2位	伊万里三香クラブA	23:46	

ロードレース 男子1～3年の部(1.5km)			
順位	氏名	所属	記録
2位	坂本 誠	青嶺陸上クラブ	5:56
駅伝 男子の部(8.4km)			
順位	チーム名	記録	
2位	伊万里三香クラブA	30:11	



↑「初めての国際大会だが、得意の大回りで1位を目指す」と意気込みを語った古賀さん(中央)

古賀さんは、昨年、長野県で開催された『第9回全日本ジュニアスキー技術選手権大会』の高校生男子『大回りの部』で5位に入賞したことから、同大会への出場が決定しました。松島町出身の古賀さんは、5歳から競技を始め、現在は、毎週末に広島などに遠征し、練習に励んでいます。

訪問しました。古賀さんは、昨年、長野県で開催された『第9回全日本ジュニアスキー技術選手権大会』の高校生男子『大回りの部』で5位に入賞したことから、同大会への出場が決定しました。松島町出身の古賀さんは、5歳から競技を始め、現在は、毎週末に広島などに遠征し、練習に励んでいます。



↑福岡ソフトバンクホークスジュニアのユニフォームを着てポーズを決める前田さん(左)

前田さんは、九州・沖縄、中国、四国地方の小学5・6年生3589人が参加した、選考会で16人のメンバーに選ばれました。なお、同大会で、福岡ソフトバンクホークスジュニアは、準優勝の成績を收めました。

12月19日、大坪赤門南野球部の前田武蔵さんが、12月26日から29日まで明治神宮野球場と横浜スタジアムで開催された『NPBジュニアトーナメントKONAMI CUP 2025』に『福岡ソフトバンクホークスジュニア』の一員として出場することを報告するため、深浦弘信市長を表敬訪問しました。